

【氏 名】二ノ宮靖史(ニミヤ ヤスシ)

【職 名】教授

【学 位】修士(言語学)

【生年月日】昭和 43(1968)年 3 月 14 日

【本学就任】平成 21(2009)年 4 月 1 日

【略 歴】上智大学外国語学部英語学科卒業

上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻博士前期課程修了 國學院大學文学部兼任講師

【専門分野】音声学、言語学、言語教育、異文化理解

【担当科目】英語リーディング演習、英語基礎演習、日英語比較論、英文法、言語学概論、ゼミナールⅠ・Ⅱ、総合教養

【所属学会】日本音声学会、大学英語教育学会、言語研究学会

【研究テーマ】音と文字の関係、英語・日本語の音声分析、言語教育における指導法、各国の文化

【研究業績】

| 【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)] | | | | |
|-----------------------------------|-----|---------------------------------|---------------------------------|---------|
| 種 類 | 区 分 | 著書・論文名等 | 掲載誌・発行所等 | 発行年月 |
| 論 文 | 単 著 | 「書記行動における書記・文字・用具・表示対象の順相関と逆相関」 | 『Walpurgis: 國學院大學外国語文化学科紀要』2019 | 平成31年2月 |
| 論 文 | 共 著 | 「料理における人名―視覚的記号の指示の観点から」 | 『國學院大學北海道短期大学部紀要』36 | 平成31年3月 |
| 論 文 | 共 著 | 「文字論から見た正書法」 | 『言語の世界』37-2 | 令和元年12月 |
| 論 文 | 共 著 | 「文字論・記号論から見たモルス符号」 | 『國學院大學北海道短期大学部紀要』37 | 令和2年3月 |
| 論 文 | 共 著 | 「和製英語の原語回帰」 | 『言語の世界』40-1 | 令和4年6月 |

| 【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで) | | | | |
|-------------------------|-----|-----------------------------|---------------|----------|
| 種 類 | 区 分 | 著書・論文名等 | 掲載誌・発行所等 | 発行年月 |
| 著 書 | 共 著 | 『中学総合的研究 三訂版』 | 旺文社 | 平成25年1月 |
| 論 文 | 単 著 | 「大文字・小文字の多重性―現代の英語表記を例にして」 | 『國學院雑誌』115-11 | 平成26年11月 |
| 論 文 | 共 著 | 「書記装置による絵文字の符号化・デジタル化」 | 『言語の世界』33-1 | 平成27年6月 |
| 論 文 | 単 著 | 「記号の転用―文字の質的変化の観点から」 | 『言語の世界』33-2 | 平成27年11月 |
| 論 文 | 共 著 | 「視覚印象的記号とその指示物が持つアイデンティティー」 | 『言語の世界』36-1 | 平成30年6月 |

【最近の社会的活動】

公益財団法人国際文化会館 会員(平 12.4～現在)

公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター 会員(平 29.4～現在)

言語研究学会 会長(令 6.8～現在)